

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和8年度技術情報第4号(カンキツのチャノキイロアザミウマ)について (送付)

下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いいたします。
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiaid/boujoshou/index.html>) にも掲載しています。



令和8年度 技術情報第4号

有効積算温度によるカンキツのチャノキイロアザミウマ第2世代の成虫発生ピーク日は、平年に比べて1～6日早く、発生の早い地域では5月中旬と予想される。

- 1 農作物名 カンキツ
2 病害虫名 チャノキイロアザミウマ

3 情報の内容

- (1) 発生地域 県本土
(2) 発生時期 平年並み～やや早い

4 防除上注意すべき事項

- (1) 第2世代以降の加害が果実被害につながるため、薬剤防除は第2世代以降の成虫発生ピーク日の10日前から同ピーク日までに行う(表1)。なお、農薬は各地域の栽培暦等を参照する(表2)。
(2) 例年、被害の多いほ場では発生に注意し、適期防除に努める。

5 参考データ

表1 成虫の発生ピーク予測日 (令和8年5月7日予測)

世代	阿久根		さつま柏原		川内		東市来		鹿児島		加世田	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	4/23	4/27	4/27	5/2	4/22	4/28	4/21	4/24	4/12	4/14	4/16	4/19
2	5/27	5/29	5/30	6/1	5/25	5/29	5/25	5/26	5/13	5/16	5/19	5/21

世代	志布志		鹿屋		肝付前田		枕崎		指宿		内之浦	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	4/17	4/23	4/16	4/23	4/16	4/21	4/14	4/16	4/14	4/17	4/14	4/19
2	5/21	5/26	5/19	5/25	5/19	5/23	5/17	5/19	5/17	5/20	5/17	5/22

注1) 予測は、(社)日本植物防疫協会のJPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションversion2により行った。

注2) 有効積算温度予測に用いた気温は、アメダスの観測値で1月1日を起算日とし、令和8年5月7日以降は平年値を使用した。

注3) 平年は、平成28年～令和7年の10年間の平均予測日。

表2 各地域の栽培暦から抜粋した農薬の一例 (令和8年5月1日時点)

農薬名	I R A C コード	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
アグリメック	6	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内
コテツフロアブル	13	2000～6000倍	収穫前日まで	2回以内
スピノエースフロアブル	5	4000～6000倍	収穫7日前まで	2回以内
トランスフォームフロアブル	4C	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
ハチハチフロアブル	21A	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内

注1) 上記農薬の使用液量は200～700L/10a

注2) 農薬の使用にあたっては、使用前に必ずラベルの表示を確認してください。